

春どりキャベツの栽培

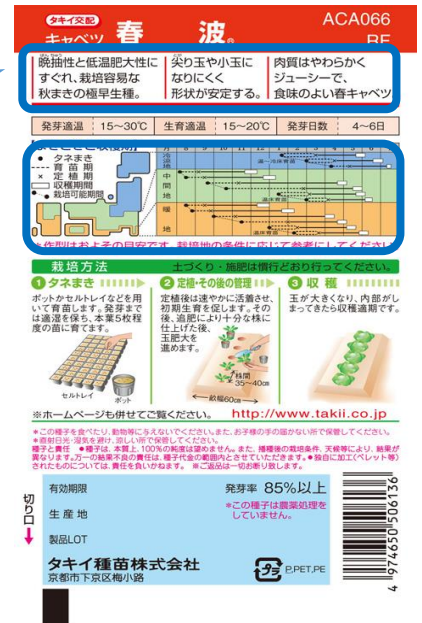
春どりキャベツは4月ごろから収穫します。

この作型では「とう立ち（^{ちゅうだい}抽苔）させないこと」がポイントです。

○秋まき春どりに適した品種をえらぶ。

- ① 品種の特徴が記載されています。
「^{ばんちゅうせい}晩抽性」（とう立ちしにくい性質）のある品種が望ましいです。
- ② まき時と収穫時期の目安が記載されています。
秋まきに適しているか確認してください。

（種小袋・裏面イメージ）



○播種時期は9月末～10月上旬

早まきをすると、冬までに生育が進みすぎて抽苔の原因となります。

【育苗する場合】

- ・ 地床／ポット→本葉5～6枚で定植
- ・ セルトレイ（128穴）→ 本葉2～3枚で、ポットに鉢上げ、または定植

○肥料は元肥：追肥＝1：2の割合

冬までに生育が進みすぎると翌春に抽苔しやすくなるため、越冬後の追肥に重点をおきます。

【施肥例】 1㎡あたり

- 元肥 たい肥2kg、苦土石灰100g、化成肥料（8-8-8）100g
- 追肥 気温が上がってくる3月から、2週間おきに2～3回
1回あたり 化成肥料（8-8-8）50～100g

○虫害を予防する

コナガ、アオムシ、ヨトウムシなどに外葉を食害されると、結球に悪影響が出ます。
防虫ネットや寒冷紗で侵入を防ぐとともに、薬剤を散布して予防しましょう。

○鳥害対策をする

冬から春にかけて鳥害をうけることがあります。不織布や防鳥ネット、テグスなどで対策をとりましょう。

○適期に収穫する

上から手で押して固くしまったものから収穫します。収穫前の灌水や収穫遅れは裂球の原因となります。



峡南農務事務所 農業農村支援課
 （峡南地域普及センター）生産振興担当
 055-240-4131